

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		科学研究情報発信基盤の強化		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	情報課学術基盤整備室		学術基盤整備室長 鈴木達也		
会計区分		一般会計		施策名	Ⅸ-1 学術研究の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		科学技術・学術情報の円滑かつ効率的な流通を図るため、科学技術・学術情報発信・流通に関して、情報基盤の現状を明らかにし、科学研究情報発信基盤の強化を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		科学研究情報発信基盤の強化に資するため、有識者の参画を得て、大学等の教育研究活動を支える重要な基盤である情報基盤の整備改善の在り方を検討するとともに、当該検討の基礎としても活用される科学技術情報発信基盤の実態を把握する。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	-	13.2	13.2	
			補正予算	-	-	-	0		
			繰越し等	-	-	-	0		
			計	-	-	-	13.2	13.2	
		執行額		-	-	-			
執行率(%)		-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		本事業は、調査等によって科学技術情報基盤の実態を明らかにし、文科省における今後の施策や各大学等における自らの情報環境の改善等に向けた検討に活用される情報を提供することにより、わが国の科学研究情報発信基盤の強化に資することを目的として事業を進めているため、定量的な成果指標を示すことができない。		成果実績	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		科学技術情報発信基盤の実態把握にかかる調査回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	2 () ()
単位当たりコスト		6.6 (百万円/回)		算出根拠	単位当たりコスト = 当初予算額(13.2百万円) / 調査回数(2回) (※事務経費を含む)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	庁費		12.3百万円	12.3百万円					
	職員旅費		0.5百万円	0.5百万円					
	委員等旅費		0.2百万円	0.2百万円					
	諸謝金		0.2百万円	0.2百万円					
計		13.2百万円	13.2百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。 ・事業の実施に当たっては、科学技術学術情報発信・流通に関して、科学研究情報発信基盤を強化するという業務の専門性を踏まえ、今後は、外部専門家の活用を図り、多くの競争参加者を得るため仕様書を工夫する等により、さらに競争性を導入することを検討すべきである。 ・本事業の実施に当たっては、大学等の教育研究活動を支える基盤の整備に資するため、調査手法や調査対象に関しても外部専門家等の意見を聞きつつ実態の把握に努めるべきである。 	
<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

A. 文部科学省
13.2百万円

庁費	12.3百万円
職員旅費	0.5百万円
委員等旅費	0.2百万円
諸謝金	0.2百万円

事業概要：
科学研究情報発信基盤の
強化に関する業務等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	科学研究情報発信基盤関連会議開催経費等	12.3			
職員旅費	科学研究情報発信基盤関連会議出席旅費	0.5			
委員等旅費	科学研究情報発信基盤関連会議出席旅費	0.2			
諸謝金	科学研究情報発信基盤関連検討会出席謝金	0.2			
計		13.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)